

檜山の研究活動

研修部長 今金町立今金小学校

校長 米田 昌

1 はじめに

檜山校長会は、管内7町の小学校20校、中学校10校で構成されている。

今年度は、第11次3か年研究(29～令和元年度)3年次として、檜山校長会教育研究上ノ国大会を開催した。檜山校長会と各町校長会の組織的、継続的な共同研究体制を強化し、各学校、各町校長会での教育推進に努めている。



2 研究計画

(1) 研究主題

「ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成」
～社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域に信頼される学校づくりの推進～

(2) 分科会・研究課題・研究の視点一覧

分科会	研究課題	研究の視点	担当町
		キーワード	
学校経営	○組織マネジメントを生かした学校経営と校長の在り方	①経営ビジョンの浸透を図る学校経営 経営理念、重点目標、学校評価、学校関係者評価等	せたな町
		②組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営 経営参画意識の向上、学校職員評価制度等	今金町
		③家庭・地域社会・異校種等との連携を図る学校経営 説明責任、結果責任、地域に根ざした教育活動等	
教育課程	○檜山の特色を生かした創意工夫ある教育課程と校長の在り方	①確かな学力の向上を目指す教育課程 授業改善、学校改善プラン、数値目標等	乙部町
		②豊かな人間性と感性を育む教育課程 特色ある教育活動、体験的な活動、道徳教育等	厚沢部町
		③児童・生徒の個性や特性を生かす教育課程 キャリア教育、放課後学習、体力の向上等	
生徒指導	○児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と校長の在り方	①望ましい人間関係づくりを図る生徒指導 アセス、ほっと等の実施やコミュニケーション活動	江差町
		②自己指導能力の育成を目指す生徒指導 自己選択、自己決定、自立への支援等	上ノ国町
		③学校の教育活動全体を通して行う生徒指導 指導体制の確立、家庭・地域・関係機関との連携等	奥尻町

(3) 研究方法

研究は3カ年計画とし、「学校経営」「教育課程」「生徒指導」の3分科会として、各町校長会は組織的・継続的な共同研究を推進する。

3 研究活動

(1) 檜山校長会教育研究上ノ国大会の概要

【研究主題】 ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成
～社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域に信頼される学校づくりの推進～

○ 期 日 令和元年10月4日(金)・5日(土)

9:00 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:55 16:30

<1日目>	受付	開会式	講 話	分科会	昼食	分科会	全体会
-------	----	-----	-----	-----	----	-----	-----

8:45 9:00 9:20 11:00 11:10 11:30

<2日目>	受付	小中合同 部会	小中別 部会	休 憩	閉会式
-------	----	------------	-----------	--------	-----

◇第1分科会

○ 提言題 「組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営と校長の在り方」

○ 提言者 せたな町立北檜山中学校長 古 俣 みきお

◇第2分科会

○ 提言題 「魅力ある学校経営に生かす創意工夫ある教育課程と校長の在り方」

○ 提言者 乙部町立明和小学校長 買 手 郁 史

◇第3分科会

○ 提言題 「9年間を見通した生徒指導と校長の在り方」

～江差中校区トライアングルサポートと

江差北小中一貫教育の取組を通して～

○ 提言者 江差町立江差北中学校長 太 多 弘 之

◇小中合同部会

○ 報 告 「全連小第45回海外教育事情視察団報告」

今金町立今金小学校長 米 田 昌

◇小中別部会

<小学校部会>

○ 提言題 「健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方」

○ 提言者 乙部町立明和小学校長 買 手 郁 史

○ 情報交流 「新学習指導要全面実施に係る取組状況及び今日的課題等について」

<中学校部会>

○ 提言題 「働き方改革における校長の関与について」

今金町立今金中学校長 酒 井 豊 志

4 おわりに

小中学校部会における道小・道中での提言に向けたプロジェクトを編成しての研究と、従来の分科会別研究の取組方に錯綜感がある。道小・道中と関連させながら、少ない学校数で檜山の教育をより高める実践的な内容・方法での研究推進について検討する時期がきている。校長の職能向上と学校経営の改善・充実に資する新たな研究の在り方を模索したい。

また、小学校部会は、今年度、全道小胆振・苫小牧大会において「健やかな体」の提言発表を行い、檜山の地域性を生かした3年間のプロジェクト研究の成果を発信できた。11月には、令和4年度全連小大会(中国地区)での提言に向けて、新プロジェクト立上げたところである。今後も小規模性、へき地性を強みとして生かすような特色ある檜山の学校教育を目指し、研鑽を続けていく所存である。